

<研修名>	学校保健研修
<研修日>	令和5年9月1日(金)
<人数>	237名
<ねらい・目的>	子どもの心身の健康問題に対する専門的知識・技能を身に付け適切な対応ができるようにするとともに、実践的指導力を高め、学校保健・学校安全の充実・発展を図る。
<講師・指導者>	岡山大学大学院教育学研究科 教授 三村 由香里 健康教育課職員
<受講者の様子・感想>	頭痛、腹痛のアセスメントや注意すべき疾病について、とても勉強になった。学校における救急処置対応について、具体的に学ぶことができた。今後活かしていきたい。



<研修名>	経験2年次教頭研修(第2日)
<研修日>	令和5年9月7日(木)
<人数>	39名(小25、中11、高1、特支2、)
<ねらい・目的>	校内人材育成における教頭の役割を理解し、その実践を通して、教頭としての必要なマネジメント力を高める。
<講師・指導者>	教職員課職員 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 特任教授 浅野良一
<受講者の様子・感想>	<p>これまで教頭として、何か教えないといけないという発想ばかりでした。やや難しい仕事を任すこと、場づくりをして達成感を味わわせること等、新たな学びになりました。自分でも、新たな場を与えてもらった時が、一番成長していたことに気が付きました。とてもしんどいと思っていましたが、自ら考えて組織を動かし、子供たちの成長につながった時の達成感は今でも忘れることはできません。先生方にもこのような経験を味わってほしいと思いながら、教頭としてできる支援をしていきたいと思いました。</p>



<研修名>	子どもの理解研修 I (発達障害等のある子どもの理解と対応)
<研修日>	令和5年9月11日(月)
<人数>	100人
<ねらい・目的>	通常の学級に在籍する発達障害等の特性や合理的配慮について 理解し、効果的な支援方法について考えることができる。
<講義題>	こんなときどうする?-行動問題のある子どもの理解と支援-
<講師・指導者>	香川大学教育学部 教授 坂井聡
<受講者の様子・感想>	学校は子どもの夢や希望をかなえるためにある場所というメッセージが胸に響いた。合理的配慮の理解が深まることは一部の子どもだけでなく、すべての子どもが安心して過ごせる学校づくりにつながるのだと感じた。

The screenshot shows a Zoom meeting interface. On the left, there are video thumbnails for participants: 坂井のデスクトップ (Sakai's Desktop), 基町高校 畑千夏 (Kishicho High School Hatachiyama), and 坂野 浩子 (Sakano Hiroko). In the center, a presentation slide is displayed with the following text:

問4
あなたは自立していますか？

On the right, there are more video thumbnails for participants: 26408893361, 中元 さやか (Nakamoto Sayaka), 中尾 真琴 (Nakao Makoto), and 中屋 優理 (Nakaya Yurii). Below the thumbnails, a large blue and green slide is shown with the following text:

もう一度確認します

●特別なものから誰もがもつ状態としての障害へ

障害を経験したことがありますか？
活動の制限や参加の制限を障害ととらえるようになってきています

障害という枠を超えてみると支援のアイデアが浮かんでくる

例 視覚障害とTV電話
知的障害とメモ

<研修名>	(新任・経験2年次・経験3年次) 園長・校長研修【幼・小・中・中等前・特】
<研修日>	9月12日(火)
<人数>	91名
<ねらい・目的>	特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性や支援方法等について理解を深め、組織的な特別支援教育の充実に向けた見通しをもつ。
<講師・指導者>	常葉大学 教授 笹森 洋樹
<受講者の様子・感想>	「合理的配慮は必要かつ適当な配慮になっているか、大人の理想像で引っ張っていないか再度チェックする必要性を感じた。担任一人が抱え込むのではなく、地域も巻き込んだ全員で全ての児童を育成していくという視点を忘れてはならないと再認識した。」



<研修名> 特別支援教育基礎研修 I (第3日)

<研修日> 令和5年9月20日(水)

<人数> 33人

<ねらい・目的> 学習に困り感を感じている子どもたちのニーズと学習スタイルを理解し、指導方法や支援の方法を考えることができる。

<講師・指導者> 広島特別支援学校 サポートセンター 教諭 北村知恵子

<受講者の様子・感想>
公立高校入試での合理的配慮や普段の授業内でできる支援の工夫について話を聞くことができた。よりよい支援の仕方を自分一人だけではなく、校内で相談しながら、お互いにアイデアを出し合うことが大切なのだと改めて感じた。



<研修名>

新任園長・校長研修

<研修日>

9月22日(金)

<人数>

34名

<ねらい・目的>

園・学校の最高責任者としての使命や学校の課題解決に係る専門的事項について理解し、学校経営の実践力を身に付ける。

<講師・指導者>

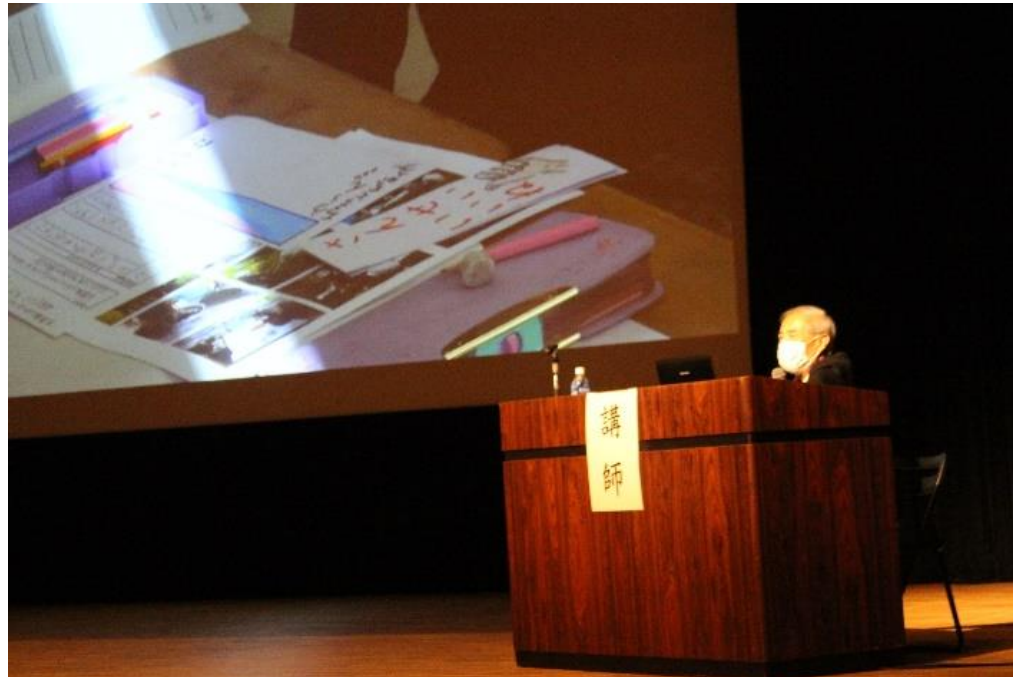
エンカツ社 代表取締役社長 宇於崎 裕美

<受講者の様子・感想>

これまでに起こった事件や事故などを事例に、初期対応のまずさ、謝罪会見での不適切発言、上司に意見を言うことができない職場の雰囲気など多くのことを考えさせられた。リスクが起きないようにする予防の側面も大事であるが、リスクが起きた後の対応や再発防止の取組も非常に重要だと思った。



<研修名>	特別支援教育コーディネーター研修【第1日】
<研修日>	9月25日(月)
<人数>	164名
<ねらい・目的>	特別支援教育コーディネーターとしての資質・能力の向上を図るための具体的方策を理解し、特別支援教育の充実に必要な力量を高める。
<講師・指導者>	岡山大学大学院教育学研究科 教授 佐藤 暁
<受講者の様子・感想>	子どもの活動を丁寧に観察し、その時の子どもの心の動きを見取ることが大切だと思った。子どもの活動をどれだけ保障しているか、授業を振り返ってみることが必要だと感じた。今回の研修について、校内の通信で紹介していきたい。



<研修名>

経験3年次教頭研修(第2日)

<研修日>

令和5年9月28日(木)

<人数>

35名(小学校23名 中学校11名 高等学校1名)

<ねらい・目的>

学校経営に係る専門的事項について理解し、校務運営上の課題解決に必要な力量を高めるとともに、学校経営ビジョンを具体化することを通して、学校経営の充実に向けた見直しをもつ。

<講師・指導者>

三島食品株式会社 代表取締役会長 三島 豊、教育センター職員

<受講者の様子・感想>

「念ずれば花開く」をキーワードに、強い思いがあつてこそそのビジョンの実現だと改めて認識できた。教頭業務に慣れてきた3年次だからこそ、現状に甘んじることなく、「校長だったら」の視点を常にもち続けたい。



<研修名> 新任教頭研修(第4日)

<研修日> 令和5年9月29日(金)

<人数> 55名(小30、中20、高4、特支1)

<ねらい・目的> 学校経営における教頭の役割と実務について理解し、教頭の実務推進に必要な力量を高める。

<講師・指導者> 教職員課職員 健康教育課職員 指導第一課職員 特別支援教育課職員 生徒指導課職員

<受講者の様子・感想>
「人事評価」は教頭にとって責任ある大きな職務だとあらためて思った。管理職としての目と心で先生方を客観的に見つめ、次のやる気に繋げられる評価にしたい。そのために評価要素を念頭に置きながら、日々の先生方の仕事ぶりや努力に気付くことができるよう記録していきたい。

